

EUROPEAN PATENT OFFICE

Patent Abstracts of Japan

PUBLICATION NUMBER : 06258506
PUBLICATION DATE : 16-09-94

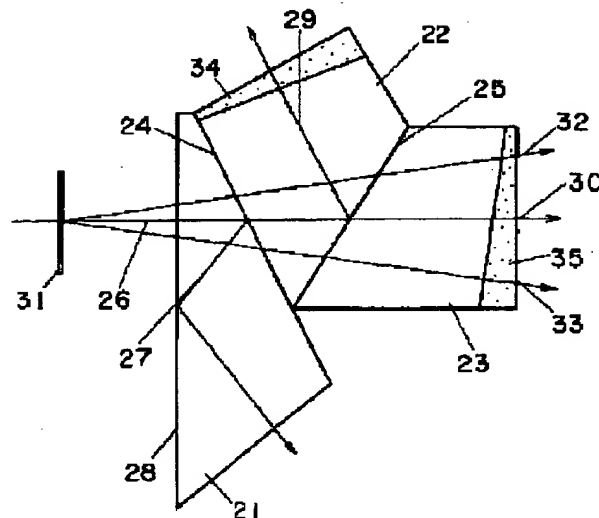
APPLICATION DATE : 08-03-93
APPLICATION NUMBER : 05046312

APPLICANT : MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD;

INVENTOR : TATSUWAKI MASARU;

INT.CL. : G02B 5/04 H04N 9/097

TITLE : THREE-COLOR SEPARATION
OPTICAL SYSTEM



ABSTRACT : PURPOSE: To provide the three-color separation optical system which suppresses color shading vertically, i.e., in the slanting direction of a dichroic mirror and is also reducible in size as to a three-color optical system which is used for a color solid image pickup device.

CONSTITUTION: A three-color separating prism is provided with prism members 21, 22, and 23, an absorbing filter 24 and a near infrared light absorbing filter 35 which are continuously varied in thickness, a dichroic mirror 24 which reflects green light, and a dichroic mirror 25 which transmits red light and reflects blue light. The dichroic mirrors 24 and 25 transmit near infrared light. The filters 34 and 35 correct the nonuniformity of the vertical distribution of the quantity of outgoing light caused by the slanting of the dichroic mirrors 24 and 25, and a near infrared light absorbing filter which has been provided in front of the three-color separating prism so far is removed to shorten the optical path length between a lens and the prism.

COPYRIGHT: (C)1994,JPO&Japio

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平6-258506

(43) 公開日 平成6年(1994)9月16日

(51) Int.Cl.⁵

G 0 2 B 5/04

H 0 4 N 9/097

識別記号

庁内整理番号

C 9224-2K

G 9224-2K

9187-5C

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数 5 O L (全 7 頁)

(21) 出願番号 特願平5-46312

(22) 出願日 平成5年(1993)3月8日

(71) 出願人 000005821

松下電器産業株式会社

大阪府門真市大字門真1006番地

(72) 発明者 熱田 裕史

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器
産業株式会社内

(72) 発明者 達脇 大

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器
産業株式会社内

(74) 代理人 弁理士 小綴治 明 (外2名)

(54) 【発明の名称】 3色分解光学系

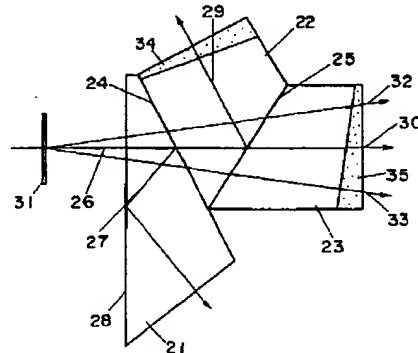
(57) 【要約】

【目的】 カラー固体撮像装置に用いる3色分解光学系に関し、垂直方向すなわちダイクロイックミラーの傾斜方向の色シェーディングを抑制し、併せて光学系の小形化をも可能とする3色分解光学系を提供することを目的とする。

【構成】 3色分解プリズムをプリズム部材21、22、23、厚みを連続的に変えた吸収フィルタ34と近赤外光吸収フィルタ35と、緑色光を反射するダイクロイックミラー24と、赤色光を透過し青色光を反射するダイクロイックミラー25を設ける。ダイクロイックミラー24、25は、近赤外光を透過させる。

【効果】 フィルタ34、35により、ダイクロイックミラー24、25の傾斜によって生じる出射光の垂直方向の光量分布の不均一性を補正すると共に、従来、3色分解プリズムの手前に設けられた近赤外光吸収フィルタを除去し、レンズ・プリズム間の光路長短縮を可能とする。

21, 22, 23 プリズム部材
24, 25 ダイクロイックミラー
26, 32, 33 撮像光
27 緑色撮像光
29 青色撮像光
30 赤色撮像光
31 射出位置
34 吸収フィルタ
35 近赤外光吸収フィルタ



一の傾斜方向に連続的に厚みを変えて、前記ダイクロイックミラーの後方に設けて構成するものである。

【0009】

【作用】上記構成では、ダイクロイックミラーの傾斜によって生じる出射光の垂直方向の光量分布の不均一性を均一にするよう、厚みを連続的に変えた吸収フィルタを用い、その吸収量の違いによって補正する。さらに例えば、3色の出射光の内、赤色光のみに近赤外光を含ませて色分解させ、この赤色光に対し、垂直方向に厚みを変えた近赤外吸収フィルタを挿入することにより、赤色光の光量分布を補正して色シェーディングを軽減できると共に、従来、レンズと3色分解プリズムの間に設けられた近赤外光吸収フィルタを除去でき、その厚み分の光路長の短縮をも可能とし、小形化にも寄与させられる。

【0010】

【実施例】以下、本発明の3色分解光学系における実施例を図面にもとずいて説明する。

【0011】図1は本発明の第1の実施例の3色分解光学系の断面図である。同図において、21、22、23はプリズム部材であり、24はプリズム部材21に設けられ、緑色の波長帯を反射する誘電体多層膜からなる第1のダイクロイックミラーであり、青色、赤色、及び近赤外光の波長帯を透過する分光特性を持たせる。25はプリズム部材22に設けられ、青色の波長帯を反射する第2のダイクロイックミラーであり、赤色、及び近赤外光の波長帯を透過する分光特性を持たせる。なお従来例に示した、3色分解プリズムの手前に設けられた近赤外光吸収フィルタ（図8の11）は設けない。

【0012】26は撮像光で、ダイクロイックミラー24により緑色撮像光27に反射分離され、全反射面28にて全反射され、出射する。撮像光26はこの後、ダイクロイックミラー25により青色撮像光29に反射分離されて出射し、残りが赤色撮像光30として直進するが、これには近赤外光も含まれる。

【0013】31は撮像レンズの射出瞳位置を示し、32は撮像素子（図示せず）の上部へ向かう光線、33は撮像素子の下部へ向かう光線を表わす。これらの光線32、33のダイクロイックミラー24、25への入射角の違いが色シェーディングをもたらすことは、既に従来例で述べた通りである。ダイクロイックミラー24、25における、光線32、33の反射光の図示は省略する。

【0014】ここで図2に、第1のダイクロイックミラー24の分光特性を示す。入射角依存性により波長位置が変化し、実線41の特性が画面中央、点線42が画面上部、一点鎖線43が画面下部に各々対応する。このように入射角により波長位置は変化するが、反射帯域全体が移動するため、反射分離される光量の変化は極めて小さくなり、緑の出力は比較的安定である。しかし、画面上部では点線42により青の帯域が減り、赤が増える。

また画面下部では、一点鎖線43により赤の帯域が減り、青が増えるという傾向になる。

【0015】図3に、第2のダイクロイックミラー25の分光特性を示す。実線44の特性が画面中央、点線45が画面上部、一点鎖線46が画面下部に、各々対応する。画面上部では点線45により青の帯域が増え、赤が減る。画面下部では一点鎖線46により赤の帯域が増え、青が減る。この傾向は、図2のダイクロイックミラー24の傾向と逆で相殺する方向にあるが、既に緑の帯域が抜き出されているため、影響度は少なく、ダイクロイックミラー24の傾向がより強く現れることになる。

【0016】本実施例では、これらダイクロイックミラー24、25の傾斜によって生じる青色と赤色の出射光の垂直方向の光量分布の不均一性を、連続的に厚みを変えた吸収フィルタで補正することを行なわせる。

【0017】図1に戻り、34は青色光の一部を吸収し、厚みによって吸収量（濃度）の変わる青色吸収フィルタであり、ダイクロイックミラー24、25の傾斜によって生じる出射光の垂直方向の光量分布の不均一性を均一にするよう、厚みを連続的に変えたくさび形状とする。35は赤色光の一部と近赤外光を吸収し、厚みによって吸収量（濃度）の変わる近赤外光吸収フィルタであり、これも、ダイクロイックミラー24、25の傾斜によって生じる出射光の垂直方向の光量分布の不均一性を均一にするよう、厚みを連続的に変えたくさび形状とする。プリズム部材21、22、23、吸収フィルタ34、35は密着して接合する。

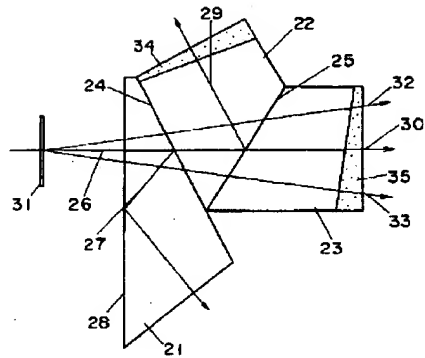
【0018】図4に近赤外光吸収フィルタ35の分光特性を示す。実線47の特性が画面中央、点線48が画面上部、一点鎖線49が画面下部に、各々対応する。画面上部では点線48により赤の光量を減らし、画面下部では一点鎖線49により赤の光量を増やす作用し、何れも近赤外光は吸収する。

【0019】以上のように図1に示す第1の実施例では、3原色の出射光の内、青色光と赤色光に対し、垂直方向に厚みを変えた吸収フィルタを設け、垂直方向の吸収量の違いによって色シェーディングを補正する。特に赤色光のみに近赤外光を含ませて色分解させ、この赤色光に対し近赤外吸収フィルタを挿入することにより、赤色光の光量分布を補正して色シェーディングを減少できると共に、従来、レンズと3色分解プリズムの間に設けられた近赤外光吸収フィルタが3色分解プリズムの中に組み込まれた形態となり、その厚み分だけレンズ・プリズム間の光路長短縮をも可能とし、光学系としてより小形化、簡素化できる。レンズ系の小形化にとっても有効である。

【0020】垂直方向に厚みを変えた吸収フィルタ34、35は、青色、赤色だけでなく、緑色光にも設けてもよい。あるいは、特に目立ち易い赤色光のみに限って近赤外光吸収フィルタ35を設けることも、より簡素な

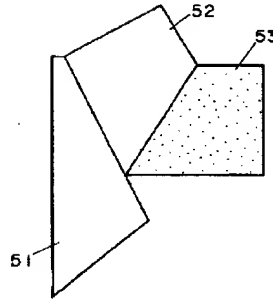
【図1】

- 21, 22, 23 プリズム部材
 24, 25 ダイクロイックミラー
 26, 32, 33 撮像光
 27 緑色撮像光
 29 青色撮像光
 30 赤色撮像光
 31 射出位置
 34 吸収フィルタ
 35 近赤外光吸収フィルタ



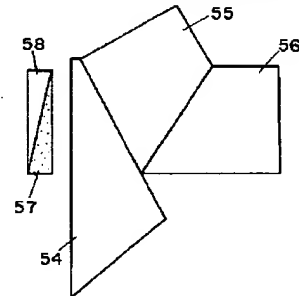
【図5】

53 近赤外光吸収フィルタ



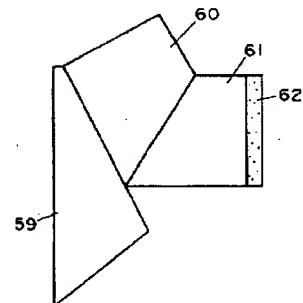
【図6】

57 近赤外光吸収フィルタ

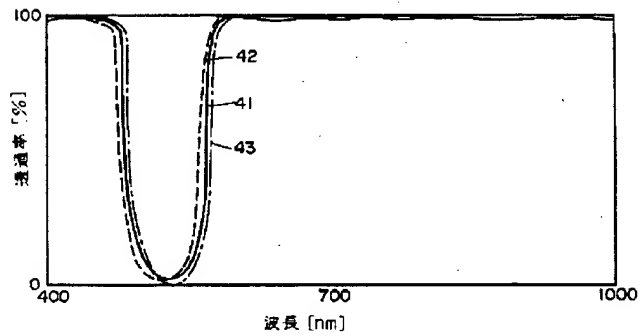


【図7】

62 近赤外光吸収フィルタ



【図2】



【図8】

- 1,2,3 プリズム部材
 4,5 ダイクロイックミラー
 6,13,14 撮像光
 7 緑色撮像光
 9 青色撮像光
 10 赤色撮像光
 11 近赤外光吸収フィルタ
 12 射出瞳位置

